

# 学習プロセスシート「アフリカの植民地化と独立後の課題」

1年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

<学習前>「貧困」について、あなたの考えを述べよ。

「貧困」により、飢えが痛に苦しむ人が多い。これを解決するためには、その国だけでなく、他国の力を借りる必要があると考える。

<授業③: 11月15日(水)>

「貧困と未来」について、あなたの考えを述べよ。

先進国である日本ですら抱えている貧困問題は、世界の国々も抱えているはずだ。ある程度安定した国でも解決できない問題を途上国が解決できるとは思えない。土地も教育も未整備で人口も多い国の貧困は解決されず、経済格差はなお一方かと思える。

<授業④: 11月17日(金)>

「貧困と国際協力」について、あなたの考えを述べよ。

貧困に苦しんでいる国には、やはり、他国の援助が必要だと考える。そして、その援助はただ大量の食料を手入れはいいわけではないと考える。相手国が自立できるように、開発援助力をもつ必要がある。そのためにも、その国の文化を尊重するべきだと考える。

<授業⑤: 11月20日(月)>

「貧困と自分」について、あなたの考えを述べよ。

貧困を解決するために世界で決めているSDGs(目標)を達成するための17個の課題を解決するために自分ができることはそんなに多くないことを知った。ただ、同じ目的の人間が集まった企業などに参加することで、自分にも何かできるのでは、と思った。

<授業①: 11月13日(月)>

「貧困と歴史」について、あなたの考えを述べよ。

「貧困」に苦しむ国が多いのは当時の列強が積極的に領土を広げようとしたことが原因で、その火付け役となったのが植民地の原形の実効力支配であったと考えられる。

<授業②: 11月14日(火)>

「貧困と歴史」について、あなたの考えを述べよ。

植民地が独立できたとしても、旧宗主国によってモノカルチャー経済を強要されたり、インフラの未整備があたりして、本当の意味で独立することは難しいと感じた。現在の独立国も、他国に依存していることからこのことがよく分かる。極度の貧困状態の人口がまだ69%なことには驚いた。

<学習後>「貧困」について、あなたの考えを述べよ。

「貧困」が世界的な問題になっていることには、帝国主義の国々による植民地支配や、モノカルチャー経済の強要といった、歴史的な背景があったと知り、この長い間で大きくなった「貧困」という課題を自国の力で解決するのはかなり難しいと感じた。そこで、やはり他国の力が必要だと考えた。しかし、先進国が一方的に物資や技術を貧しい国に与えることが理想の国際協力ではないことを知った。相手国が自分たちの足だけで歩んでいけるように、援助する国は、その国の文化を尊重し、考えながら援助していかなければいけないと考えた。また、SDGsを達成するためには、もともと「貧困」について、多くの人に認識してもらう必要があると考えた。なぜなら、「貧困」に対して個人でできることは、とても少なく、効果が小さいからである。

<自己評価>学習の前後で自分の考えがどのように変わったか。一連の授業を振り返ってどんなことを感じるか。疑問点等も含めて自由に書きなさい。

学習前は「貧困」についてはアバウトな知識しかなかったが、学習を通して「貧困」がかなり難しい問題だということを知った。日本の中で過酷にしているだけではない、1ミリも知れていないことがあると知り、世界のスケールの大きさを感じた。